

▽ 小柳正弘 教授 KOYANAGI, Masahiro

学 科： 人間福祉学科 社会福祉専攻

担当科目：

学部： 専門演習 I a・ I b、卒業演習

大学院： 人間福祉特論

学歴等のプロフィール

①【主要学歴】 ②【学位】 ③【所属学会】 ④【主要職歴】

- ① 熊本大学 大学院 社会文化科学研究科 博士後期課程修了
 ② 博士(学術)
 ③ 日本哲学会、日本倫理学会、日本法哲学会、日本デューイ学会、西日本哲学会(評議員)
 ④ 国立八代工業高等専門学校一般科講師等を経て琉球大学法文学部人間科学科教授、
 2010年4月より沖縄国際大学総合文化学部教授

教育活動等

主な教育活動	年月日	摘要
①教育活動・方法の実践例 1) 演習科目 専門演習Ⅱ 卒業演習 2) 大学院 社会倫理学特論	2016年度	学部演習科目では、論文作成の作法や質的研究のありかたなどを中心に指導を行った。 大学院では、「ライフストーリー」をキーワードに支援の理念型を検討した。 *2016年度は副学長に就任したため責任担当コマ数は2コマ。

研究業績等

【 主要論文及び主要著書 】

【著書・単著】

『自己決定の倫理と「私-たち」の自由』（2009年）ナカニシヤ出版

【著書・共著】

『自己決定論のゆくえー哲学・法学・医学の現場からー』（2008年）九州大学出版会

『現代環境思想の展開ー21世紀の自然観を創るー』（2004年）新泉社

『ビジネス倫理学ー哲学的アプローチー』（2004年）ナカニシヤ出版

『G.H.ミードの世界ーミード研究の最前線ー』（1997年）恒星社厚生閣

『沖縄 創造の哲学』（1997年）米盛裕二先生退官記念論集刊行会

【訳書・共訳】

G.H.ミード著『西洋近代思想史ー十九世紀の思想のうごきー(上)(下)』（1994年）講談社学術文庫

【論文・単著】

「初期プラグマティズムにおける自由の問題(1)ーW.ジェイムズをめぐって」『沖縄国際大学人間福祉研究』10-1、2013年

「企業の社会的責任論におけるステイクホルダー論の展開に関する一考察ービジネス倫理学の観点から」『沖縄国際大学産業総合研究調査報告書』19、2011年

「バスターナリズムと当事者主権」『人間科学』(琉球大学法文学部人間科学科紀要) 20、2007年

「和辻倫理学と御嶽のエートスー<風土のエチカ>のために」『人間科学』(琉球大学法文学部人間科学科紀要)10、2002年

「コンテクストと自由ーバーリンの自由論にかんする解釈を中心に」『人間科学』(琉球大学法文学部人間科学科紀要)4、1999年

「他者と自我ーG.H.ミードを手がかりに」『八代高専紀要』15、1993年

「学生がみずから考える哲学教育のこころみ」『第51回九州地区大学一般教育研究協議会議事録』、2003年

【書評・単著】

「問題がどのように生ずるのか、その問題にどう対処するのか」（立岩真也著『自閉症連続体の時代』書評）『週刊読書人』2014年10月17日

「「私たち」のありよう探索」（下村英視著『理性主義と排除の論理ー沖縄愛楽園に生きる』書評）『琉球新報』2015年12月6日

【科学研究費・研究代表者】

基盤研究(C)「自己決定原理の理論的・実証的研究ー医療従事者の自己決定を素材に」2006-2008年度
挑戦的萌芽研究「障害児支援における「現場の理念」の探索・構築ー現場と倫理学の循環的交流」
2014-2016年度

*その他、論文・翻訳、数編、招聘講演など

研究分野

社会哲学、倫理学、障害と支援

【Eメール・ホームページ等】

mkoyanagi@okiu.ac.jp

2017/4/3現在